

施策 No.32 ボランティア・市民活動の推進										基本計画 掲載頁	108～109
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数	A	0	B	3	C	0	
				(参考)事務事業評価の実施状況	A	0	B	1	C	0	
成果	市ホームページや「にいざの地域だより」の発行により、ボランティアや市民活動に関する情報発信を行った。 計画策定時と比較し、市民公益活動補償制度登録団体数は増加している。 近隣4市共同でボランティア団体の交流会を開催した。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	引き続き、ボランティア・地域活動に関する情報の提供や安心して活動するための補償制度の運用等を通じて、ボランティア・市民活動の活性化に向けて支援する。						
課題	ボランティアや市民活動に関する情報のより効果的な発信方法等についての検討が必要である。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) ボランティア・市民活動の支援		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	ボランティア・市民活動に関する情報を発信するとともに、より効果的な収集と発信の方法を検討します。	B	・市内活動団体の活動レポートや市民公益活動補償制度登録団体の会員募集情報を掲載した「にいざの地域活動だより」を250部作成し、市内公共施設や3大学等に配布した。また、市ホームページにも掲載した。	地域活動推進課
2	活動中の事故を救済し、安心して活動に参加できるように、公益的な活動を行う市民団体を対象とする補償制度の運用を継続するとともに、登録者に対し制度内容の周知を図ります。	B	・補償制度の運用を継続するとともに、市ホームページに制度内容を掲載し、広く周知した。 ・登録団体に対しては、年度更新の際にパンフレットを送付した。	地域活動推進課
3	市民や団体がボランティア・市民活動を新たに行いやすい環境づくりや地域コミュニティと連携した活動等に対する支援について検討します。	B	・近隣市（朝霞市、志木市、和光市）と共同で、朝霞地区4市の市民活動団体及び個人を対象に、地域相互交流と横の連携強化、団体同士のマッチング等を目的に市民活動団体交流会を開催した。	地域活動推進課

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
公益活動団体数（市民公益活動補償制度登録団体数）	168団体	200団体	200団体				205団体	B	地域活動推進課